高岡市総合交通戦略施策事業の各事業進捗状況について

資料2

凡例 ○：計画どおり実施された
 △：計画どおり実施されたが、課題が認められる
 ×：事業が廃止となった
 -：評価するまで事業が進捗していない

戦略名		実施事業名	事業主体	評価	内容
【戦略1】都市の成長を高める広域交通体系の構築					
戦略1-1 大都市圏との交通軸の強化	①	北陸新幹線による利便性確保	交通事業者、市、民間	○	新高岡駅へのかがやき停車、はくたか・つぎの乗継改善など利便性向上に向け、JR、国に働きかけを継続（かがやき臨時便の新高岡駅停車が継続）
	②	北陸新幹線の未整備区間の整備	国	○	令和5年度末北陸新幹線金沢・敦賀間開業予定 敦賀・新大阪間の環境アセス調査開始
	③	東海北陸自動車道の暫定2車線区間の4車線化	国	○	全線4車線化に向け国、県に働きかけを継続
	④	関西方面との高速バス路線の利便性向上	交通事業者	○	高岡高速バスターミナルを経由する関西方面へのバス路線の運行
戦略1-2 飛越能地域との交通軸の強化	①	飛騨地方との高速バス路線の利便性向上	交通事業者	○	世界遺産バスの運行(H25～)、高山線の運行(R2～)
	②	能登地方との高速バス路線の利便性向上	交通事業者	○	わくライナーの運行（H27～）
	③	能越自動車道の整備	国	○	事業化区間の整備促進と全線の早期整備に向け国、県に働きかけの継続 既存供用区間の安全性・利便性の向上に向け国、県に働きかけの継続
戦略1-3 県西部地域との交通軸の強化	①	県西部地域とのバス路線の維持	交通事業者	△	利用者の減少により、バス路線が縮小傾向
	②	城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画事業の推進	市、交通事業者	○	城端線・氷見線沿線地域公共交通計画の策定（R4.6）
【戦略2】市内を円滑に移動できる交通体系の構築					
戦略2-1 都心交通軸の強化	①	万葉線の延伸	市、交通事業者	-	
	②	高岡駅・新高岡駅間のバス路線の維持	交通事業者	○	路線再編により両駅間を10～20分間隔のバス運行
戦略2-2 都市交通軸の強化	①	都心エリアと市街地エリアを結ぶ路線の強化	市、交通事業者	△	バス路線においては、利用者減、運転手不足による路線の統廃合が増加
	②	生活路線バス・公営バスの維持	市、交通事業者	△	利用者減、運転手不足により維持が困難になっている
戦略2-3 公共交通網の持続に向けた運行体制の再構築	①	市民協働型地域交通システムの導入	市、市民、交通事業者	○	市内2地区で本格運行、2地区で実証運行がされている
	②	持続可能な公共交通網の検討	市、交通事業者	○	県、沿線市、JRと連携し城端線・氷見線の検討が進められている
戦略2-4 観光を促進する交通環境の充実	①	歩いて楽しいまちづくりの推進	市	○	歴史的町並み街道の整備
	②	レンタルサイクルの拡充	市、民間	○	高岡駅、新高岡駅、伏木駅、雨晴駅周辺でレンタルサイクルの整備
	③	公共交通を活用した観光企画の充実	市、交通事業者	○	新高岡駅利用促進事業を推進

戦略名		実施事業名	事業主体	評価	内容
【戦略3】安全・安心な交通環境とサービス水準の向上					
戦略3-1 交通モード間の乗り継ぎ改善	①	ダイヤの改善・相互調整	交通事業者	○	城端線は増便施行を実施：1日8便（H27～） あいの風とやま鉄道に変わり通常ダイヤが増加
	②	公共交通のシームレス化	交通事業者	○	高岡駅の橋上駅化、万葉線高岡駅の屋内化、EV・エスカレーターの整備により乗継改善
	③	サイクル&ライド駐輪場の整備	市、交通事業者	○	新高岡駅・高岡駅周辺に駐輪場整備
	④	相互利用可能な交通系ICカードの導入	市、交通事業者	○	あいの風とやま鉄道、JR新高岡駅にICカード導入 万葉線で導入検討
戦略3-2 交通施設等の改善	①	車両の改修、新型車両への更新	交通事業者	-	
	②	駅等の利用環境の改善	交通事業者	○	高岡駅交通広場を整備
戦略3-3 サービス提供手法の改善	①	公共交通情報提供システムの機能充実	県、市、交通事業者	○	とやまロケーションシステム運用開始（R1.11～）
	②	高岡駅・新高岡駅における公共交通情報ホスピタリティの向上	市、交通事業者	○	新高岡駅・高岡駅にデジタルサイネージでバスロケーションシステムを表示
	③	先進情報化技術の活用	市、交通事業者	○	民間事業者が提供するMaaSを活用した周遊チケットのデジタル化
戦略3-4 公共交通等を活用したにぎわいの創出	①	公共交通イベント等の実施	市、交通事業者	○	各種イベント実施
	②	ラッピング車両の運行	市、交通事業者	○	城端・氷見線においてハットリくんラッピング列車（H16～）及び各市のラッピング列車（H24～H29）の運行、万葉線においてドラえもんトラムの運行（H24～）
戦略3-5 環境に配慮した車両、施設の改善	①	環境配慮型車両の運行	市、交通事業者	△	ハイブリッド路面電車試験運行（H26） LPGバスを活用した高岡市内周遊観光バス「まわるん」の運行（H27～H29）
	②	自転車通行帯等の整備	国、県、市	-	
【戦略4】公共交通を利活用するライフスタイルへの転換					
戦略4-1 利用者意識の醸成	①	モビリティ・マネジメントの実施	市民、行政、交通事業者	○	公共交通マップの作成、市民ノーマイカーデーの実施、お試し回数券の配布等実施、各種サポーター組織結成
	②	公共交通利用誘導策の導入	市、交通事業者	○	サポーター加入で商店、飲食店でのインセンティブ 新幹線通勤・通学定期購入支援、高齢者運転免許自主返納支援、パーク&ライド事業の実施
戦略4-2 都市機能の集約化	①	まちなかへの都市機能の集約	市、民間	○	中心市街地活性化を推進 立地適正化計画策定（H30.10）：都市機能誘導地域を定め、集約化
	②	まちなか居住支援制度の推進	市	○	まちなか区域、居住誘導区域を定めた「たかおか暮らし支援事業」を実施 住宅取得やりフォーム支援
戦略4-3 ライフスタイルの転換	①	新しい生活様式への対応（新型コロナウイルス感染拡大対策）	市民、行政、交通事業者	○	駅、車両における消毒・換気等対策の徹底、予防対策周知の実施
	②	みんなで守り育てる公共交通	市民、行政、交通事業者	○	公共交通マップの作成、市民ノーマイカーデーの実施（再掲）